

## 郷土資料室企画展

# アキシマクジラ化石発見60周年記念イベント ～化石を体験しよう～

市のシンボルとして親しまれてきたアキシマクジラの発見から60周年を記念して、ワークショップなどを開催します。  
☆詳しくは、市民図書館☎543-1523へ。



## ワークショップ (申込不要)

◇期日・内容

- ① 8月14日(土) = 化石レプリカ作り教室
- ② 8月15日(日) = 微化石を観察しよう
- ③ 8月21日(土) = 化石クリーニング体験

◇時間 午前10時15分～午後0時15分、午後2時～4時

◇場所 アキシマエンシス校舎棟

◇対象 小学生以上の方

◇定員 各10人(先着順/午後の部は午後1時から整理券を配布)

## 講演&対談「帰ってきたアキシマクジラ」 ビデオ上映 (申込不要)

◇期日 8月20日(金)～22日(日)

◇時間 午前10時～午後6時(20日のみ午後1時～8時)

◇場所 アキシマエンシス国際交流教養文化棟

◇内容 木村敏之さん(群馬県立自然史博物館学芸員)と田島芳夫さん(アキシマクジラ発見者)による、講演や対談のビデオ(各10分程度)を繰り返し上映

\*講演「アキシマクジラと昭島」

\*対談「アキシマクジラの60年間」

\*講演「子ども向け アキシマクジラのお話」 ほか



## 特別観察会「電子顕微鏡でみるアキシマクジラ」(申込不要)

専門家が、電子顕微鏡を使って化石を紹介します。

◇日時 8月20日(金)・28日(土)の午後1時～3時

◇場所 アキシマエンシス国際交流教養文化棟

## アキシマクジラとは

およそ200万年前に眠りについた1頭のクジラが、昭和36(1961)年8月20日に、八高線多摩川鉄橋の下流の河川敷で化石となって発見されました。全長は約13.5m、ほぼ完全な形のクジラの化石が発見されたのは日本で初めてであり、世界でもまれなことで、「アキシマクジラ」と名付けられ、市民に親しまれてきました。

その後、研究が進み、平成30(2018)年1月1日、学会誌にヒゲクジラの仲間である現生コククジラのものとは異なる新種であるとの論文が掲載され、学名が「エスクリクティウス アキシマエンシス」と付きました。



▲化石の発掘作業(昭和36年8月)



▲化石の復元作業完了(昭和37年8月)



▲学会誌に掲載された論文